

崩し、保険料を引き上げないことを提案して反対する。

**権利の放棄（住宅新築資金等貸付金）**

**【反対】日本共産党**

住宅新築資金貸付金約263万円の権利の放棄ということがあるが、債務者は10年間1円も返していないということについては、安易な権利放棄と言わざるを得ない。以上のことから反対する。

**【反対】日本共産党**  
現行の予防給付は、国が定める全国一律の人員、設備、運営基準であるのに対し、法定定によって、そのサービスは市町村が基準を定めるものとなる。遵守すべき事項は、従業員の秘密保持、事故発生時の対応、従事者の健康管理などとなっており、担当職員専門性を問われない状況となっている。サービスの質の低下を生じることが考えられるので、反対する。

**特定事業契約の締結**

**【反対】日本共産党**

総額96億5,569万3,160円の事業費で、当然それに対して億単位の金利が上乘せされる。公共施設は、事前事後の評価制度を十分取り入れて、住民の福祉と健康増進を目的とし、住民サービス向上のための施設でなければならぬ。不要不急の施設建設に税金を費やすなど、決して許されるべきものではない。最優先すべきは市民の暮らしであり、地元の中小商業者の営業、そして福祉、教育を正面に据えて充実させるべきである。ゆえに、直営による基本計画を策定して、パブリックコメントを取る定石に立ち返るべきである。分庁舎、ホテルの複合施設の建設の中

止、撤回を求めて反対する。

**【賛成】いずれの会派にも所属しない議員**

市民の利便性向上を図るために、総合窓口機能を有する庁舎を整備し、また中南地域を観光の拠点として施設整備等、観光施設を整備し、国内外の観光客を誘致すること、市民と観光客の交流を図り、賑わいの創出、そして中心市街地の活性化を目指す内容となっている。本市が中心となつて近隣市町村とも連携し、また民間の力も活用して観光客の集客を図ることを求めて賛成する。

**平成27年度榧原市一般会計予算**  
**【反対】日本共産党**  
交通弱者のための交通空白地となつている市南西部への路線バスを走らせるための調査費用、耐震改修のための補助予算などが計上されているが、八木駅南のホテル建設事業推進のための予算が組まれている。市民の税金を使つたホテル建設は、民業を圧迫し本来の地方公共団体の施設の目的から大きく逸脱したもの

と言わざるを得ない。公費を使つてのホテル建設事業は中止し、税金を暮らし、福祉に使うことを提案して反対する。

**【賛成】政志会**

厳しい財政状況の中、昨年に引き続き6つのスローガンを掲げ、都市基盤対策、商工対策、観光対策、防災対策、保健衛生対策、子育て・高齢者・障がい者対策、いじめ・不登校問題解消のための教育対策等に積極的に取り組んでいる。さらに市債残高の減少など、財政健全化に取り組み、歳出の重点化に努められた予算である。今後も厳しい財政状況が続くが、市民のために魅力あるまちづくりに努力されることを願つて賛成する。

**平成27年度榧原市国民健康保険特別会計予算**  
**【反対】日本共産党**  
所得200万円の4人家族で37万4,900円の国保税は、払える限度額を超えていると言わざるを得ない。きちんと払える国保税にしていくために、減免制度の拡充、また削られた国庫補助金を元に戻すよう国に強く要請する

ことを提案して、反対する。

**【反対】日本共産党**

老人保健制度のもとでは禁止されていた短期保険証の発行が22件もあるとのことである。保険料は2年に一度の見直しで、今までもずっと引き上げられてきている。高齢者は、年金の実質引き下げなどで、非常に生活が苦しい状況にある。高齢者の差別医療制度を廃止して、もとの老人保健制度に戻すことを提案して反対する。

**平成27年度榧原市介護保険特別会計予算**  
**【反対】日本共産党**  
基準額を3,803円から4,778円に26%引き上げられている。高齢者は年金の実質引き下げなどで生活が厳しくなっている。そのような中で保険料の引き上げは、さらなる生活苦となる。10億円ある基金を十分に取崩して保険料を引き上げないことを提案して反対する。

**榧原市住民基本台帳カード等の利用に関する条例の廃止**

**【反対】日本共産党**

プライバシーの侵害のおそれが見据えられたもの、制度の導入を見据えたものであるため反対する。